

# 予 算 要 求 資 料

令和 3 年度 9 月補正予算

款：商工費 項：商工費 目：工鉱業振興費

## 事業名 **新**岐阜かかみがはら航空宇宙博物館 VR コンテンツ制作事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

商工労働部 航空宇宙産業課 企画連携係 電話番号：058-272-1111 (内 2936)

E-mail：c11354@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 補正要求額 39,749 千円 (現計予算額：0 千円)

### <財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
現 計 予算額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
補 正 要求額	39,749	0	0	0	0	0	0	0	39,749
決定額	27,113	27,113	0	0	0	0	0	0	0

## 2 要求内容

### (1) 要求の趣旨 (現状と課題)

- 岐阜かかみがはら航空宇宙博物館の来館者は、新型コロナウイルス感染症の影響により減少傾向となっており、これに伴い、子どもたちの航空宇宙に関する学習機会も減少している。
- こうした状況の中、航空宇宙産業の未来を担う人材を育成していくためには、博物館における航空宇宙に係る充実した情報発信とオンライン学習コンテンツの充実が必要であるとともに、併せて、D X の機能を最大限に活かした実際の来館に繋がる仕組みづくりが必要である。

### (2) 事業内容

- 展示機体の 360 度画像化 V R コンテンツの制作  
展示機の全周囲映像や普段見ることができない機体内部等、W E B 限定コンテンツの制作 (4K レベル) 及び顕在性の高いトップページの制作

- ・アバターによるヴァーチャル館内移動、機体との記念撮影機能を付与
- ・画像と詳細な解説とが連動した「VRそらはく」の構築、公開
- ・実際に来館しないと解答できないクイズ等設定、オリジナルグッズを提供するといった来館への積極的誘導の実施

### (3) 県負担・補助率の考え方

県と市は、共同で博物館を所有し、運営することとしているところであるが、本事業は、DX対応の一環として県が主体的に実施するものであり、その効果が市の域を超えて波及するものであることから、県が全額を負担する。

### (4) 類似事業の有無

なし

## 3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
委託料	39,749	VRコンテンツ制作
合計	39,749	

### 決定額の考え方

事業内容を精査し、所要額を計上します。

なお、財源については新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を充当します

## 4 参考事項

### (1) 各種計画での位置づけ

「岐阜県成長・雇用戦略2017」において、「岐阜かかみがはら航空宇宙博物館を活用した小中学生の航空宇宙に対する興味の喚起と同産業への将来の就業促進」を具体的な取組として位置付けている

### (2) 国・他県の状況

国立科学博物館など一部でVRを活用した情報発信を実施。

### (3) 後年度の財政負担

なし

### (4) 事業主体及びその妥当性

博物館設置者として、DX計画を視野に入れ、県が事業主体となることは妥当。

# 事業評価調査書（県単独補助金除く）

<input checked="" type="checkbox"/> 新規要求事業
<input type="checkbox"/> 継続要求事業

## 1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか  
 航空宇宙への興味喚起に繋がるコンテンツの充実により、子どもたちに航空宇宙への夢や魅力を伝え、航空宇宙に興味を持たせることで、航空宇宙産業の未来を担う人材を育成する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前	指標の推移		現在値 <small>（前々年度末時点）</small>	目 標	達成率
博物館来館者数（人）	269,066 (R1)	(H )	(H )	108,376 (R2)	150,000 (R3)	72.3%
	(R1)	(H )	(H )	(R )	(R )	%

○指標を設定することができない場合の理由

（前年度の取組）

・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等）

（前年度の成果）

・前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果

## 2 事業の評価と課題

### (事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い      △：必要性が低い</li> </ul>	
(評価)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 新型コロナウイルス感染症の状況の中、DX対応の一環として、情報発信強化とコンテンツ充実を図ることは、子どもたちの航空宇宙に関する学習機会確保と空宙博の誘客促進に必要である。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおりまたはそれ以上の成果が得られている △：まだ期待どおりの成果が得られていない</li> </ul>	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている      △：向上の余地がある</li> </ul>	
(評価)	

### (今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業が直面する課題や改善が必要な事項</li> </ul>
---

### (次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか</li> </ul>
--

### (他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	【○○課】
組み合わせて実施する理由や期待する効果 など	